

-----7月5日----- 2021年

※ 今週のアウトルック(7/5~7/9)

先週は週末に米国雇用統計を控え、期待感からドル円は木曜日にこのところのレジスタンスであ111円を超えました。

金曜日の米国雇用統計の結果は、非農業部門部門雇用者数は予想以上の結果だったことに対し、失業率の上昇や平均時給などの伸び悩みが嫌気され、一転してドル売りに転じることとなりました。

今週はまず、このドル売りがどの程度まで広がるのかが注目されます。

先週のドル円は、木曜日に111円台後半まで上昇しましたが金曜日の米雇用統計発表後は、失業率の悪化などが嫌気されドル売りに転じました。

今週は、このドル売りがどのあたりで終息するかがまずは注目されますが、テクニカル的には110円あたりで一度膠着状態になるのではないかと考えています。

ドル円の予想レンジは110円から111.5円です。

ユーロ円は132円付近で、一進一退の状況となっています。金曜日の米国雇用統計の結果から、ユーロドルには反転の兆しが見えてきたもののユーロ円は再び131円台へと下落しました。

今週は、もう一度132円円台から133円台後半を目指す動きとなるかどうか、ポイントとなりそうですが、133円付近まで上昇する可能性は十分にありそうです。

ユーロ円の予想レンジは130円から134円です。

ポンド円はポンドドルの反転から、再び156円付近のレジスタンスブレイクを狙う動きが出てきています。

今週、154円台に乗せてくる可能性は十分にありそうです。

ポンド円の予想レンジは151円から155円です。

ドル下落がどの程度で止まるのか、他通貨への影響がどのようなものになるのか、がまずは注目されますが、NYダウの動きなどにも注意が必要のように思います。

* 免責事項 *

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。